

水路部における天文観測について[†]

海洋情報部研究報告 第 58 号 38-65 頁

奥村雅之*

Astronomical observation of the Japan Hydrographic Department[†]

Masayuki OKUMURA*

Table 5 のうち, 昭和 40 (1965), 45 (1970) 及び 48 (1973) 年の「観測者または派遣人数及び使用艦船」及び「使用機材」欄に誤りがありました。次表のとおり謹んで訂正いたします。

Table 5. The activities of JHD for solar eclipse observation.

表 5. 水路部日食観測班の派遣状況

観測年	食の種類	観測地	観測者または派遣人数及び使用艦船	使用機材
昭和 40 (1965) 年	皆既	ニュージーランド (マヌアエ島) (斎藤, 1965)	2 名 運輸省航海訓練所 進徳丸 (3,450 t)	
昭和 45 (1970) 年	皆既	メキシコ (プエル ト・エスコンディ ド) (斎藤, 1970)	2 名	閃光分光器 (1 台) この観測から閃光分光 器 (Fig. 4) を導入し, 16 mm 映画用フィルム に皆既食開始, 終了の第 2・3 接触で発生する閃 光スペクトル (Photo 5) を撮影することにより, 観測精度の向上を図っ た。(森, 1970)
昭和 48 (1973) 年	皆既	モーリタニア (ア タール) (森, 1974)	2 名	閃光分光器 (1 台) 観測地点は, 黄緯方向 の精度を上げるため, こ の年からインドネシア日 食まで, 旧緯度観測所と 協力し, 皆既帯の中央及 び南北限界線の複数点に 展開して観測を行った。

[†] Received August 14, 2020; Accepted August 21, 2020

* 大洋調査課 Offshore Surveys Division